

令和元年8月20日
プレス向け説明会資料

※政策説明会資料抜粋

小規模な「公の施設」整備における
公民連携（PPP）手法について
～施設運営者の意向を反映した設計・施工による整備～

総務部公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課

PPP/PFIの推進

【PPP/PFI手法導入優先的検討方針】 H29.4策定

ア 事業費の総額が10億円以上の公共施設整備事業
(建設、製造又は改修を含むものに限る。)

イ 単年度の事業費が1億円以上の公共施設整備事業
(運営等を行うものに限る。)

検討方針の対象とならない規模の施設整備事業であっても、施設運営を見据えた設計・施工により、施設の目的を効率的かつ効果的に達成できると思量される場合は、設計・施工・運営の一体的な発注が効果的である。

従来は、
別々に発注
仕様発注

例) (仮称) 山の駅飯綱高原

PPP/PFIの
代表的な手法

BTO方式 (PFI) ※
DBO方式 (公設民営)

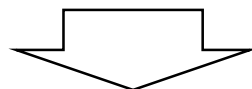
※Build Transfer Operate
※Design Build Operate

しかし、上記手法の場合、小規模事業での導入には課題がある

小規模な公の施設整備事業

【BTO方式やDBO方式の課題等】

- 導入可能性調査等で2～3千万円の経費が見込まれる。
- 契約まで長期にわたる手続きが必要。
- SPCの設立・運営経費、金利負担(PFIの場合)も発生。
- 事業規模が小さいため、VFMが出ない可能性
 ※施設整備費の削減 < 委託料等の増 の可能性
- 民間事業者にとって負担が大きい（選定されない場合のリスク）



小規模な整備事業の場合、できる限りリスクを回避しつつ、コスト（費用・時間等）を抑えながら、民間のノウハウを活用する手法が望ましい。

◆委託料等の新たなコストが生じない、実績のある方式
 DB※方式（松代荘、サンマリーン、Uスタジアム等）

※Design Build + 指定管理者制度（今年度は347施設）

できることを組み合わせた手法

導入

優先的検討の対象外となる小規模事業
 民間ノウハウの活用が期待できる事業

地元

民間事業者が
 参入しやすい
 仕組み



PPP推進

事業毎
 に判断

DB+指定管理 手法イメージ

公募型プロポーザル実施要領等の公表

PFI事業等審査委員会
※H30.12月議会で設置済

審議

運営者の意向を反映させるため、提案の段階で運営者を含めた共同企業体とし、その運営者を指定管理者とする。

補正予算・施設設置条例

長野市

契約

設計会社A

設計・施工&運営の提案

+

建設会社B

+

運営会社C

意向
運営ノウハウ

非公募による
選定

指定

指定議決

指定

運営会社C

公募によらない指定管理者選定に関する指針の改正により可能に!

指定管理者として運営

運営会社C

初期投資の回収やリスクを考慮し10~15年を設定



公募
選定
契約
設計
契約
施工
運営

※金額により議決